

地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 8 2020.10

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

第8回手柄地区地域活動充実支援事業 ミーティング

会議概要

日時	場所
令和2年10月31日(土) 13:30~15:15	姫路市立手柄公民館 2階会議室

出席者(順不同) 自治会長、地域活動団体、学校、PTA 関係者等他約40名

議題

- ・講演「いつまでも地域で暮らす 『地域再発見』」

講師 夢こらぼ 主宰 松尾 やよい氏

議事内容/結果

1 開会

会長挨拶

- ・本日の講演の概要
- ・地域活動充実支援事業の紹介、昨年末に開催されたアンケート結果でも地域で暮らし続けたいと多くの方が回答された中、今回の講演が今後、地域活動に参加する人の参考となることを期待します。

講師紹介(市民活動推進課)

- ・講師プロフィールに基づき講師紹介

2 「いつまでも地域で暮らす 『地域再発見』」(松尾 やよい氏)

配布資料に基づき、講演をしていただきました。

時折、講師から問題提起(例:マンションで挨拶禁止のルールが決められたことについて、マスクをしていない人が飛行機から降ろされたことについて等)があり、4, 5人のグループでの意見交換を行い、テンポ良い話と合わせて、楽しく学び、地域について考える機会となりました。

講演内容

- 地域とは・・・地域もグループだが、グループは、違うものを排除しようとしません。違うものを「新鮮・刺激・感動」と捉えて考えることができないか。
- なぜ地域活動(地域づくり)が必要なのか・・・住み続けるために、生活環境の向上のために、暮らしやすさを生み出すため、思いやり助け合うため等
- 地域活動に必要な3つの要素・・・情熱・冷静・交わり
- 地域活動組織のカタチ・・・トップダウン型とボトムアップ型(講師はボトムアップ型がおすすめ)
- 地域活動をどう捉えるか・・・マイナスではなく、プラスで捉えることが大事。

- 地域参加と地域参画で高める地域力・・・地域の人たちが、知恵と自分にできることを持ち寄り、地域のためになること。
- 地域活動をする人のための8つの心得を提示
- いつまでも地域で自分らしく暮らすために・・・ひとりっきりの課題にしない、みんなが動きやすい仕組みづくりを創ること等

3. 参加者より

- ・山陽中校長、手柄小教頭、PTA会長、姫路市社会福祉協議会支部担当から感想。
- ・市民活動推進課から

今回の講演では、分かりやすく楽しく地域活動について考える機会となった。今後、手柄小学校区での地域活動について、各種団体と連携し、活動を実践する組織づくりはできないか、公民館の活用検討などもゆっくりと考えていただき、市としても、活動をサポートしていきたい。

4. 閉会

次回 11月29日(日) 13時30分から

内容 セミナー「手柄山中央公園の再整備工事が始まりました」

講師 手柄山中央公園整備室

当日の様子

